



石川県済生会金沢病院 〒 920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@po3.nsknet.or.jp URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

ご利用の皆様へ

副院長 横川 明男



『新春雑感』

皆様明けましておめでとうございます。

『耐雪梅花麗(雪に耐えて梅花麗し)』とは、梅は冬の雪や厳しい寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に美しい花を咲かせ芳しい香りを発するという名言です。成長や大成するには忍耐が如何に不可欠であるかという例えです。また、「春告草(はるつげぐさ)」と呼ばれる梅は、花の色合いが豊富であり、つやのある明るい紅色は「本紅」、つぼみは桃色でありながら咲くと白色になる花は「移白(うつりしろ)」、そして反対に白から紅色になる「移紅(うつりべに)」と言われるものがあります。今年は、近年にない大雪に見舞われておりますが、一日も早い開花が待ち遠しいですね。

昨年の夏、上野の東京都美術館でブリューゲルの絵画「バベルの塔」を観てきました。天にまで届くかと思う巨大な塔を築こうとした、人間のおごりを描いたとされる16世紀の作品です。想像上の巨塔を立てるためにクレーンを使用した作業方法や、細部にわたるリアルな建設現場が緻密に描かれています。総勢1400人を超える人々の働く様子が、当時の建築技法を正確に緻密に伝えています。塔の完成を目指し不可能に挑戦しようとする人間を称えているかのようで、壮大な人間讃歌に魅せられたような印象でした。また、秋には国立博物館での「運慶」の重厚な如来像や菩薩像に出会う機会を得て、彫刻像でありながら今にも言葉を発しそうなリアルな顔の表情に感動させられました。毘沙門天や鬼達のかつと見開いた目、そして額に浮かぶ青筋を伴う憤怒の像が素晴らしく、解剖学的生理学的観点からも圧倒されました。特に、ググッと隆起した“中殿筋”の量感は鍛え上げた相撲力士か体操選手でないと張り出してこないなど、想起しながら堪能してまいりました。このように上野の美術館や博物館では、目を見張る世界各地の名画や像の展覧会が定期的で開催されており、訪れるたびに心が癒され清々しい気分になります。



バベルの塔



運慶

さて今年は平成になって30年目を迎えましたが、1年後には天皇がご譲位されると同時に年号が変わることになります。西暦でいいのではないかという意見もありますが、日本独自の年号は大変愛着があり、とても捨てがたいものと考えます。平成30年が皆様にとりまして、益々の信頼と安心の医療が提供できる年になりますようにと祈念するとともに、改めて“*There is no employee's satisfaction without customer's satisfaction!* (職員の満足のないところに患者の満足はありえない)”という格言を思い出します。職員の満足度を向上させる組織作りや、環境改善は不可欠であると信じています。

ロシアの名作家のゴーリキイの言葉に、「仕事が楽しみなら、人生は極楽だ！ 仕事が義務なら、人生は地獄のようなものだ！」とあります。多少はつらい医療ではありますが“笑顔と元気”を念頭に、梅の花を楽しみながらさらに前を向いて頑張りましょう。

院内文化祭・コンサートを開催♪

当院エントランスホールにおいて、去る10月31日～11月8日の一週間、院内文化祭を開催しました。患者さんや職員、二塚公民館の皆さんから作品を募集し、手芸や絵画、写真等の31点を展示しました。

文化祭初日には、オーケストラ・アンサンブル金沢の楽団員による弦楽三重奏『秋の昼下がりコンサート』が行われ、外来および入院中の患者さんや職員合わせて約60名が、プロの奏でる美しい音色に癒されました。また、普段は珍しい弦楽器の生演奏を聴くことができ、会場の皆さんにとっては貴重なひとときを過ごすことができたのではないのでしょうか。

今後も患者さんに喜ばれるような企画を行っていきたいと思っています。



☆クリスマスコンサートで演奏披露☆



去る12月19日、当院エントランスホールにおいて『はなうめクワイヤチャイム隊』によるクリスマスコンサートが開催されました。クワイヤチャイムはアルミ製の音叉（おんさ）にクラッパーというハンマーを当てて鳴らし、1本で1音を出すハンドベルに似た楽器で、1人が2本ずつ持って曲を奏でます。

メンバーは、「石川県がん安心生活サポートハウスはなうめ」（県社会福祉会館内）の利用者やがんピアサポーター等の皆さんで、一昨年の結成以来、がんの悩みなどを語り合い、療養を続ける傍ら、練習を積み重ねてきました。

会場では、外来や入院患者さんら約50名の聴衆を前に「ジングルベル」「きよしこの夜」「星に願いを」等6曲を見事に演奏し大きな拍手を受けました。

終了後には緩和ケア病棟に入院している患者さんとのミニパーティにも参加いただき、同じ思いを抱える者同士で語り合い、互いに楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



平成29年度 患者満足度調査の結果について (抜粋)

<調査目的>

今後のより良い病院に向けての検討及び患者サービスを推進する際の基礎資料を得るため、現在の外来・入院患者の実態や当病院への評価・満足度を把握し、その問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的として実施。

○調査設計

- 調査対象：平成29年10月17日（火）の外来患者さん及びそのご家族
また、10月1日～10月31日に退院された患者さん及びそのご家族
- 調査方法：院内でアンケート用紙を手渡し、記載後担当者が回収または院内設置の回収箱で回収

【回答総数】 ① 外来 212人 ② 入院 47人

【 外 来 】

外来総合的満足度(有効回答のみを集計)

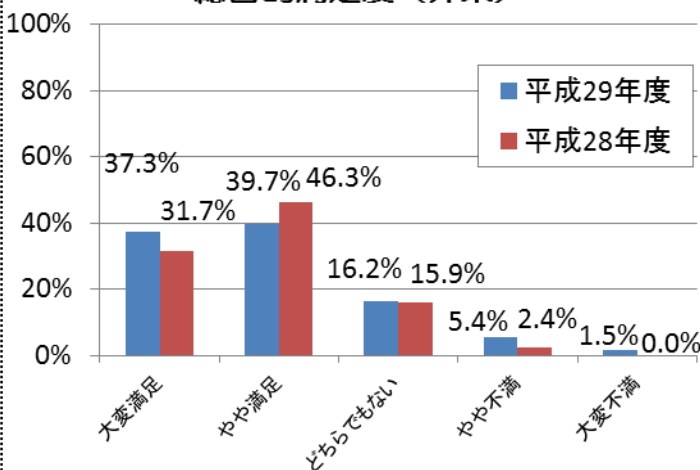
年度	有効回答数	総合点数	大変満足(5点)	やや満足(4点)	どちらでもない(3点)	やや不満(2点)	大変不満(1点)
29	204	4.07	76人 37.3%	81人 39.7%	33人 16.2%	11人 5.4%	3人 1.5%
28	164	4.11	52人 31.7%	76人 46.3%	26人 15.9%	4人 2.4%	0人 0.0%

【 入 院 】

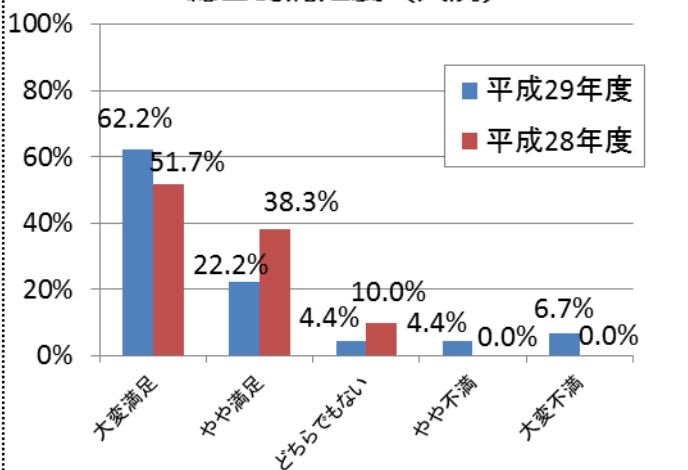
入院総合的満足度(有効回答のみを集計)

年度	有効回答数	総合点数	大変満足(5点)	やや満足(4点)	どちらでもない(3点)	やや不満(2点)	大変不満(1点)
29	45	4.29	28人 62.2%	10人 22.2%	2人 4.4%	2人 4.4%	3人 6.7%
28	65	4.42	31人 51.7%	23人 38.3%	6人 10.0%	0人 0.0%	0人 0.0%

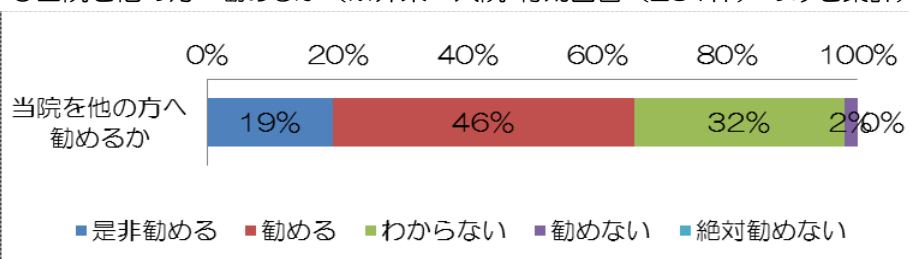
総合的満足度（外来）



総合的満足度（入院）



◎当院を他の方へ勧めるか（※外来・入院 有効回答（231件）のみを集計）



今回の調査において、外来・入院共に、昨年度と比べ総合的満足度の「大変満足」の割合は増加しましたが、その一方で「やや不満」・「大変不満」と感じられた方も若干増加したという結果となりました。

また、当院を他の方へ勧めるかという設問では、半数以上の方から当院を勧めるという回答を頂くことができました。今回の調査結果を踏まえ、さらに多くの患者さんに選ばれる病院となれるように、職員一人一人が常に患者さんファーストを自覚し、医療サービスの向上に努めていきたいと思ひます。

なお、調査項目以外にもたくさんの貴重なご意見を頂きましたので、今後の参考にさせていただきます。

調査にご協力頂きました皆様には、改めて深く感謝申し上げます。

広報・サービス向上委員会

SNAPは、患者さんの快復を願うとともに病院スタッフの日々の活動にゆとりと喜びをもたらすため、誰もが参加できる、親しみやすいアートの活用を目指すことを目的としたプロジェクトです。

SNAPの皆さんが昨年制作したアートを紹介します！



水族館のステンドグラス

昨年6月、1階エスカレーター横に制作されたアートです。テーマは「水族館のステンドグラスーAquariumー」で、透明のカッティングシートで作られたおよそ400匹のお魚たちが窓いっぱいに泳いでいる楽しい作品になっています。

コットンボールのモビール

昨年秋には、風船に糸を巻きつけて作る「コットンボール（糸玉）」で透け感がやさしいぬくもりのあるモビールを制作しました。

患者さんが利用される、院内2階の外來の天井や病棟のエレベーターホールにおよそ400個以上のカラフルなコットンボールをつり下げ、シャンデリアのような雰囲気をたのしく表現しました。



クリスマスツリー&お正月飾り

冬には、紙筒を組み上げて作られたクリスマスツリー、お正月飾りもエントランスに展示されました。

今回のお正月飾りには、患者さん・スタッフに赤い絵馬のカードに犬のイラストを描いてもらい飾り付けました。